

令和6年度坂東地域アグリセミナー第1回「先進農家研修」を開催

アグリセミナーとは、就農間もない農業者を対象に、基礎的な栽培技術の習得や地域の仲間づくりを目的に、通年開催している講座です。

6月20日、令和6年度坂東地域アグリセミナー第1回「先進農家研修」を開催し、新規就農者4名が参加しました。

本年第1回目の講座である今回は、古河市及び境町の青年農業士2名を訪問し、経営の取り組みや、農業への思いについてお話を伺いました。

まず、ターボファーム高橋忠浩氏より、ニンジンの栽培技術について説明をいただきました。また、「ニンジンの嫌いな子でもニンジンを食べるきっかけになれば」とニンジンジュースの委託加工にも取り組んでいるとのことでした。ジュースは、食味のよい品種を選定するなど苦手な人でも飲みやすい工夫がされており、試飲した参加者からは「非常に美味しい」との声があり、加工品に取り組む生産者にとって参考となるものでした。

次に株式会社クローバー・ファームの高橋大希氏より、経営概要や圃場管理方法等について説明をいただきました。アグリノートなどの営農支援ツールやザルビオフィールドマネージャーなどの栽培管理支援システムを駆使することで、圃場ごとの作業記録の見える化や作業員との情報共有、追肥・防除時期等の予測ができ、栽培管理が効率的に行えるようになったことを教えていただきました。また、今後このようなツールやシステムが進化し、より農業が発展していくことに期待しているとお話もいただきました。

加工の委託販売やICTの活用など新しいことに取り組む姿に参加者からは、「新しいことに取り組む際の親への説得方法は？」など質問があがるなど、活気あふれる研修会となりました。

次回は土づくり講座（7/31開講）の開催を予定しています。

普及センターでは、今後もアグリセミナーを通して新規就農者の支援をしていきます。



令和6年7月 日 坂東地域農業改良普及センター バティーン一希（担い手）